

04 **[学生たちの素顔]**
社会福祉学部 福祉計画学科 2年 伊藤 日菜 さん
手話と福祉の力で何が出来るか、自らに問いかけ続ける日々。

05 **[先生たちのその素顔]**
短期大学部 英文学科 専任講師 ヘイディ・E・トムソン 先生
今いる場所でできること、楽しめることを見つけよう!

06 **[学生広報委員 企画ページ]**
「チャペル」は北星学園大学で最も古い建物です!

07 **[HOKUSEI CAMPUS NEWS]**
新・北海道スイーツ開発プロジェクトが進行中!

08 **[HOKUSEI INFORMATION 北星学園大学からのお知らせ]**
○証明書のオンライン申請サービスを開始しました!
○北星学園大学の公式HPをリニューアルしました!

[まちがいさがしクイズ]
北星学園大学オリジナルグッズが当たる!



02-03

(公財)北海道演劇財団 理事長・芸術監督 斎藤 歩 氏 インタビュー

自分で選んだ札幌で、 演劇とともに生きていく

[インタビュアー]

経済学部 経済学科 4年 小野寺 咲季
社会福祉学部 福祉心理学科 3年 坂本 京香

自分で選んだ札幌で、 演劇とともに生きていく

俳優・演出家・劇作家として映画やドラマ、舞台などで活躍中の齋藤歩さん。5年前に札幌に居を構えて東京と行き来しながら、北海道演劇財団の理事長・芸術監督として札幌の舞台芸術の発展に尽力されています。学生広報委員で来春社会人になる小野寺さん、演劇サークルで活動する坂本さんが、演劇人としての歩みやコロナ禍での取り組み、札幌への思いなどを伺いました。

PROFILE

さいとう あゆむ
齋藤 歩

1964年北海道釧路市生まれ。北海道大学演劇研究会を経て1987年に札幌ロマンチシアター筋鯨(ほうぼう)舎設立。1996年、北海道演劇財団設立に伴いTPS(シアタープロジェクトさっぽろ)契約アーティストに就任。2016年、北海道演劇財団芸術監督に就任。2020年、同財団理事長に就任。現在は北海道を拠点に演出家、脚本家、俳優として活動するとともに、東京でも映画・テレビドラマなどに出演している。

縁と出会いに導かれて歩んできた演劇の道

小野寺：演劇の世界に足を踏み入れたきっかけは北海道大学演劇研究会と伺っています。

齋藤：地質学者に憧れて北大に入学したので、もともと演劇には興味がなかったんです。北大の学生自治運動に参加し、演劇研究会のテント公演などに関わるようになったのがきっかけです。最初は人前で笑ったり泣いたりするのが辛くて、セリフを言うなんてまっぴら。1回だけで辞めるつもりだったのに、先輩に「お前が主役の台本を書いてきた」とおだてられ、再び舞台に立ってみたらなんだか面白くなってきます。演劇にのめり込んで単位が取れず大学を除籍になり、仲間と一緒に札幌ロマンチシアター筋鯨舎を旗揚げ。JR琴似駅横の倉庫を借りて活動を始めました。



坂本：当時の演劇界はどんな感じでしたか？

齋藤：80年代は東京で野田秀樹や鴻上尚史が舞台に新しい風を巻き起こしていた時代。札幌でも本多小劇場(2000年に閉鎖)が誕生して東京の芝居を招聘したり、僕たちの他にも数々の劇団が個性あふれる舞台を競い合い、刺激に満ちあふれていました。僕も役者に専念しなかったけど劇団運営に忙殺されるようになり、筋鯨舎を離脱。その後東京で舞台や映画、テレビドラマなどに出演するようになりました。5



年前に札幌演劇財団の芸術監督になったのを機に札幌へ移住。現在は札幌と東京の2拠点で活動しています。振り返ってみればさまざまな人との縁や作品との出会いを積み重ね、意図せずしてここまでやってきたんですね。きっとこれからもそんなふうに進んでいくのではないかと考えています。

舞台を止めるな！コロナ禍でつかんだ新しい表現

坂本：コロナ禍によって演劇界も大きな影響を受けたのではないのでしょうか。

齋藤：昨春の緊急事態宣言下では、どうにか劇場を開ける方法はないかと考え続けていました。折しもNHK連続テレビ小説『エール』に出演していた志村けんさんが新型コロナウイルス感染症で亡くなり、僕の出演シーンの収録直前に撮影が中断。その後撮影が再開した時、NHKの徹底的な感染防止対策を見て「これなら劇場を開けられる!」と思ったんです。それらのノウハウを取り入れ、「札幌演劇シーズン」を実施することができました。2018年に札幌文化芸術劇場[hitaru]がオープンし、世界レベルの舞台芸術を当たり前で享受できる環境が整った今、文化的社会インフラとしての劇場を閉ざすわけにはいかないと改めて実感しています。

小野寺：コロナ禍で得た気づきや変化はありましたか？

齋藤：劇場公演が難しい中、YouTube配信にもチャレンジ。それを観た人が劇場にきてくれたこともあり、今まで縁のなかった人に舞台を届け



る手段を得たのは大きな変化だったと思います。札幌交響楽団やアイヌのボーカルグループ、ダンサー、俳優がコラボしたパフォーマンス作品の制作・配信も実現しました。これまでは演劇のみの視座で舞台を捉えていましたが、今までつながりのなかったジャンルの人々と結びつき、新しい表現を創造できたのは、コロナ禍ゆえの収穫と言えるかもしれません。

札幌に居場所を見つけた今、若者たちに思うこと

小野寺：東京を経て再び軸足を据えた札幌への思いをお聞かせください。

斎藤：父が転勤族だったので、僕は釧路で生まれて3歳になる前に大阪へ移り、小・中・高校は千葉県内を転々としていました。だから僕には幼なじみがないんです。転校先ではすぐに打ち解けることができたけど、「どうせここもすぐに離れるのだから」という思いがあり、親友もできませんでした。でも札幌は初めて自分の意志で選んだ場所だから、ここで出会った人々を大切に、この土地を好きになろうと思った

んです。今は40年前の僕を知っている友人たちがいて、彼らを知っている僕がいる。そんな場所は札幌しかありません。実は大学を辞めて根無草になった時、本籍地を藻岩山のてっぺんに転籍したんですよ！今住んでいる家からも藻岩山が見えて、ここが自分の居場所だと改めて実感しています。

坂本：札幌の街をそんなふうにあえてくださってうれしく思います。最後に、私たち若い世代へのメッセージをお願いします。

斎藤：僕が若い頃は「食えなくてもなんとかなる」と思っていたし、「今の若い奴らは…」なんて言う上の世代に反発して好き放題やってたけど、最近の若い劇団員はちゃんと大学を卒業して就職した上で演劇をやっている。しっかりしているなあと感じる一方、ちょっと寂しい気もします。僕らの時代は演出家や監督から徹底的に否定されるのが当たり前で、否定され尽くした末に残る何かを必死でつかんで舞台に立てきました。何の保証もないけどとことん打ち込んだり、徹底的に追い込まれても「何くそ！」と這い上がったたりしないと得られないものもあるんじゃないかな。それと、僕は若い人が新聞を読まないことを危惧しています。LINEやSNSの会話が増え、長い文章を論理的に理解したり言語化する力が社会全体で後退しているように感じる。伝える力は聞き出す力にも通じます。論理的な思考と言語力を磨いて、豊かなコミュニケーションを醸成していきたいものです。

小野寺・坂本：本日はありがとうございました！



経済学部 経済学科 4年
おののら さき
小野寺 咲季
北海道恵庭高等学校 出身



社会福祉学部 福祉心理学科 3年
さかもと きょうか
坂本 京香
市立函館高等学校 出身

さまざまな出会いを積み重ね、自然体で自分の道を見つけてきた斎藤さんの生き方に感銘を受けました。コロナ禍でエンタテインメント界は大変な時代ですが、屈することなく新しい表現を創造して次世代に継承しようとしている姿がとても印象的でした。

学生演劇に携わる者として、今まで知らなかった札幌の演劇事情に興味深く伺いました。入学式で訪れたhitaruが世界レベルの素晴らしい劇場であり、斎藤さんをはじめ多くの方が札幌の文化育成に尽力されていると知り、とてもうれしくなりました。





社会福祉学部 福祉計画学科 2年
伊藤 日菜 さん
(石狩翔陽高等学校 出身)

手話と福祉の力で何ができるか、
自らに問いかけ続ける日々。

伊藤日菜さんは石狩市で最年少の手話通訳者。聴覚障害のある友人との交流を通じて手話の楽しさに目覚め、社会で働く中で福祉を学ぶ重要性を痛感して本学に入学しました。聴覚障害者が安心して暮らせる社会のために何ができるか——コロナ禍で学生生活や手話通訳活動が制限される中、伊藤さんは自らに問いかけ続けています。

手話に出会い、友情を育んだ高校時代

高校時代、もともと興味を持っていた手話を学べると聞いてボランティア局に入りました。そこで聴覚障害のある友達と知り合い、本格的に手話の勉強を始めたのです。指の形と日本語を照らし合わせながらひとつずつ単語を覚えたり、スピードの速い友達の手話が読み取れなかったり、苦労はたくさんありましたが、手話で友達と話せる楽しさが励みになりました。友達は人工内耳を装着していて音が反響する場所では会話が聞き取れないため、顧問の先生の勧めで全校集会の時に通訳をするようになったことも上達を後押ししてくれたと思います。

働きながら手話を学び、20歳で手話通訳者に

手話は私の視野を大きく広げてくれました。友達を通じて他の聴覚障害者とも仲良くなり、手話がなければ知らなかった世界を教えてくれたのです。高校卒業後も札幌聴覚障害者協会で働きながら手話の勉強を続け、2019年度手話通訳者全国統一試験に合格。石狩市内最年少の20歳で手話通訳者に登録されました。資格も経験もないまま福祉の仕事に従事することに限界を感じていたのですが、これを機に聴覚障害者の相談業務に携わりたいと考えようになり、社会福祉士の資格を取るために北星学園大学に入学しました。昨年9月からは石狩市議会のワイド通訳や手話出前講座で通訳兼講師もしており、手話で地域のお役に立てることをうれしく思っています。

目標は聴覚障害者の力になれる医療ソーシャルワーカー

昨年から続くコロナ禍のため、大学ではオンライン授業が続いています。興味があったボランティアサークルも活動停止中で参加できず、同じ授業を受けている友人たちと連絡を取り合う程度。先生に直接質問する機会も限られ、ひとりで勉強する不安は尽きません。もどかしい日々が続いていますが、卒業後は手話ができる医療ソーシャルワーカーとして、聴覚障害のある方が安心して相談に来られる環境を作りたいと考えています。最近では手話通訳付きのテレビニュースも増えてきましたが、手話通訳がないために情報を得られず困っている聴覚障害者は少なくありません。手話通訳者の高齢化が進む中、ひとりでも多くの若者に手話通訳の意義を知ってもらい、力になってもらいたい。そのために自分に何ができるのか、自らに問いかけ続けています。



石狩市内小学校での手話講座の様子
(北海道新聞社提供)



Featured Faculty Member

先生たちの その素顔

短期大学部 英文学科 専任講師 **ヘイディ・E・トムソン** 先生

PROFILE

2003年 ヴィクトリア大学ウェリントン 卒業
国際商工行政学士・観光経営学士(二重資格)
2010年 Laidlaw College 神学 修了 神学学位
2011年 英国ケンブリッジ大学 英語教師資格 卒業
英国ケンブリッジ大学認定英語教師資格 (CELTA)
2014年 ヴィクトリア大学ウェリントン 博士前期課程(修士)修了
2017年 北星学園大学短期大学部英文学科 専任講師
2021年 ヴィクトリア大学ウェリントン 応用言語学 語彙取得修了
博士後期課程(応用言語学)



今いる場所でできること、
楽しめることを見つけよう!

■いつか日本へ行ってみよう! 本州からニセコを経て本学へ

ニュージーランドでは日本語の授業を開講している高校が多いんです。私も高校時代に日本語を学び、大学で日本人留学生の友人ができて、いつか日本に行ってみようと思っていました。大学卒業後にワーキングホリデーで初来日。2005年に愛知県で行われた「愛・地球博」でスタッフとして働いた経験が楽しくて、日本で長く暮らしたいと思うようになりました。山口県の英語指導助手、北海道ニセコ町のコンドミニアム勤務などを経て、2017年に本学専任講師に着任しました。

■「話せる英語」に必要な語彙と学習スキルを教えています

私が担当している「Vocabulary Building」という授業は、英会話でよく使われる語彙やフレーズを学ぶ1年生の必修クラスです。これらは「話せる英語」を習得するためのベースとなるもので、入学時に英語を話せなかった学生も、努力次第で卒業時には簡単な英会話ができるようになっています。外国人とスムーズに会話するためには正確な発音も大切です。ニセコのコンドミニアムでフロントマネージャーを務めていた頃、英語で対応できる日本人スタッフが電話になるとうまく伝わらず、苦勞している姿をよく見ました。英会話が上達するコツは、毎日英語にふれること。そして楽しむこと。授業ではクイズやゲームのアプリを取り入れたり、ペアを作って練習したりしています。コロナ禍で海外渡航が難しい中、短大英文学科ではニュージーランドの語学学校が主催するオンライン留学プログラムを導入しました。現地の学生とオンラインで交流する経験は、学生にとって実りあるものとなったようです。自分がいる場所でできることを見つけて楽しむ姿勢があれば、多くの学びのチャンスが得られると思います。

■北海道は理想の場所! 一年中アウトドアを満喫しています

北海道の風景はどこかニュージーランドに似ています。過ごしやすい気候、豊かな大自然、たくさんの野生動物…私にとってまさに理想の場所! 夫も私もアウトドア好きなので、カヌーや登山、サイクリング、バックカントリースキーなど、北海道の四季を満喫しています。この夏は10日間の大雪山山縦走を計画。無事に完走したら、夫や仲間と共同運営している北海道の山岳情報ウェブサイト「HokkaidoWilds.org」にルート情報をアップする予定です。北海道のアウトドアの魅力をたくさんの外国人に知ってほしいですね。



JALT(全国語学教育学会)北海道支部の2019年度学会での発表の様子。



オホーツク海に注ぐ滑川を夫婦でカヌーツーリング。ご主人は本学文学英文学科専任講師・トムソンバート先生です。



本学WEBサイトコンテンツ「研究者ストーリー」でヘイディ先生のインタビュー動画も閲覧できます。
<https://entry.hokusei.ac.jp/scholar/haidee/>



今こそ!

北星に行こう!!!

今回は、北星学園大学の特色ともいえる「チャペル」について紹介します。「チャペル」は、何をやる所なのか、何のためにあるのか。そんな素朴な疑問から「チャペル」の歴史まで本学のチャプレンである日高嘉彦先生にインタビューを行いました!



竣工当時のチャペル(1965年)

チャペルとは…?

「チャペル」は北星学園大学で最も古い建物です!



●チャペルとはキリスト教の礼拝堂のことです。4世紀頃、ヨーロッパの聖人が貧しい少年に外套(ラテン語で「カペラ」: 上着のこと)を分け与えたという伝説があり、この聖なる外套を保存する建物もカペラと呼ぶようになり、後に英語の「チャペル」に転じました。1962年の開学当時、北星学園大学は札幌市中央区の南4条にありましたが、1963年の火事によって大谷地に移転しました。アメリカの教会から資金援助を受け、建てられたのが現在のチャペルです。大谷地に移転してから唯一建て直されていない、本学で最も古い建物です。

●チャペルでは、月曜日から金曜日の12時10分~30分に「チャペルタイム」という礼拝を行っています。心を養い、学んだ知識をどのように人のために使うのかを教えてくれるのが「チャペルタイム」です。現在はコロナウイルスの影響によりオンラインで行っており、在学生であればどこからでも参加できます。チャペルでの一大イベントはクリスマスで、毎年クリスマスツリー点灯式などさまざまなイベントを行っています。



チャプレンにインタビュー

Q: チャプレンは普段どのような活動をしていますか?

A: 学内では北星学やキリスト教学という講義を行っています。また、チャペルで行われるイベントの運営も行っています。イベントの中には、学生が参加するボランティアや一般の方でも参加できるコンサートがあります。

Q: 新型コロナウイルスの影響はありましたか?

A: 例年であれば、大学の昼休みの時間にチャペルタイムとしてさまざまな活動を行っていました。しかし、昨年に引き続き今年も対面での実施ができないので、オンラインのチャペルタイムを継続し、時代に合わせてわかりやすく話を伝える努力をしています。



チャプレン
ひだか よしひこ
日高 嘉彦 先生

▶チャプレンとは…
学校・病院・軍隊など、
教会以外の施設や組織で活動する聖職者。
北星学園大学では牧師である

Q: 学外でのお仕事を教えてください

A: 妻が牧師をしている教会やその他の教会で定期的に聖書のお話をしています。



結婚式



チャペルでは、チャペルタイムやコンサートだけでなく、結婚式を行うこともできます。北星学園大学の卒業生、在学生、教職員であれば誰でもキリスト教式による結婚式を挙げられます。現在はコロナ禍により実施していませんが、例年1~2組が式を挙げています。



D.Sweets Project  PATISSERIE DOLCE VITA × 北星学園大学

新・北海道スイーツ開発プロジェクトが進行中!



経営情報学科では経営・情報・マーケティング・会計という4つの柱のもと、企業経営の最前線で活躍できる人材の育成を目指しています。そのため実務能力科目に力を入れており、地元企業や行政機関と協働で商品開発や販促活動などにもチャレンジしています。現在、清田区の人気洋菓子店「ドルチェヴィータ」とのコラボスイーツ開発プロジェクトが進行中。スイーツのプロに支えられ、学生たちの甘い夢がかたちになろうとしています。



■ 清田区との縁から新商品開発プロジェクトが始動

経営情報学科・鈴木克典ゼミではこれまでも、新さっぽろ地区商業施設の来訪客のアンケート調査や東北被災地応援物産展などに取り組んできました。一昨年は市内菓子店とコラボして開発したおみやげ菓子が見事に商品化。昨年はコロナ禍によってゼミ活動も制限される中、清田区路線バス利用促進プロジェクト、「きよたStayHome応援プロジェクト」での学生独自のSNS発信など、清田区との連携を深めてきました。こうした縁から同区の洋菓子店「ドルチェヴィータ」にご協力いただき、新しい北海道スイーツの開発プロジェクトが動き出したのです。

■ プロジェクト発足から1年、待望の第1回試食会を開催!

本プロジェクトは3名の3年生(当時)を中心に昨年7月にゼミプロジェクトとして始動。オンラインで議論を重ねながら企画書を練り上げ、12月にドルチェヴィータ代表・安孫子政之さんに提案しました。「社会人に引けを取らない礼儀正しい対応と、説得力のある企画内容に驚かされました」と安孫子さん。その場で快諾していただき、試作に着手しました。

当初は今年4月に試作品をお披露目する予定でしたが、緊急事態宣言を受けて延期に。7月13日、ようやく第1回試食会にこぎつけました。プロジェクト開始から1年を経て4年生になった3名がプロジェクトの概要を説明。安孫子さん自ら持参してくださった試作品をゼミ生に試食してもらい、アンケートを実施しました。



試作品を製作した安孫子政之さん(後列左)とプロジェクトメンバー(左から斎藤さん、上条さん、片岡さん)

■ 雪のように白いカステラを世に送り出したい!

今回の商品コンセプトは「北海道の雪を想う、白いカステラ」。地元北海道に住む皆さまはもちろん、道外に住む方々のお取り寄せや観光客のお土産など幅広い需要に応え、ひとりでも多くの方に愛される商品をお届けしたいという学生の思いが詰まっています。ポイントは雪のイメージをどう表現するか。試作第1号は、道産米を飼料とする音更町・竹内養鶏場の白い卵「米艶」と生クリームを使い、白くしっとりとした生地仕上げました。今後はアンケート結果をもとにレシピの改良、ネーミングおよびパッケージデザイン制作、販促計画などを進め、今年度中の商品化を目指しています。



■ 地域に学び、地域を元気に。この経験が糧になる

「商品開発は目的ではなく手段のひとつ。地元企業とコラボし、それぞれの得意分野を活かしながら地域の方と一緒に地域を元気にしていくプロセスに多くの学びがあります」と鈴木先生。時には失敗もありますが、それも勉強のうち。学生からは「お叱りを受けたおかげで成長できた」「社会に出てから役に立った」という声が少ないそうです。本プロジェクトのリーダーを務める片岡真飛さんは、先輩が開発した商品の販促を希望して鈴木ゼミに入ったもののコロナ禍で活動が中断。「このままではいけない」と新商品開発を提案し、本プロジェクトが実現しました。「ゼロから商品を創る経験は貴重な財産になっています。この経験を活かして将来は国内外、幅広い店舗開発を手がけたい」と片岡さん。商品が店頭に並び目を目指して、卒業までに残された時間を仲間とともに駆け抜けます。



TOPICS

証明書のオンライン申請サービスを開始しました！

北星学園大学では在学生および卒業生を対象に、卒業証明書や単位修得成績証明書などの各種証明書を発行しています。従来、証明書を発行するためには在学生は必ず来校し、卒業生は来校または郵送で申請する必要がありましたが、今年度よりオンライン申請が可能になりました。

本サービスではパソコンやスマートフォンから申請手続きを行い、最寄りのコンビニで各種証明書を発行できます(一部の証明書を除く)。一度登録すれば24時間365日いつでも申請・発行が可能。決済にはクレジットカードもご利用いただけるようになり、いっそう便利になりました。証明書には電子透かしの特殊印刷を採用し、偽造防止にも配慮しています。

今後は証明書以外の各種手続きにもオンラインサービスの導入を進め、さらなる利便性向上に努めてまいります。手続きの詳細につきましては本学HPをご覧ください。

【証明書の発行】

<https://www.hokusei.ac.jp/alumni/application/>



北星学園大学の公式HPをリニューアルしました！

7月12日より本学の公式HPが新しくなりました。さまざまな情報をコンパクトにまとめ、スマートフォンでも見やすいシンプルなデザインにリニューアル。新型コロナウイルス感染症対策関連の情報や最新トピックス、SNSや本誌などの広報コンテンツにアクセスしやすく、インタビュー動画も随時アップして、北星キャンパスの「いま」を感じていただけるHPになりました。下記URLからぜひアクセスしてください！

【北星学園大学公式HP】

<https://www.hokusei.ac.jp/>



▲トップページ

北星学園大学オリジナルグッズが当たる！

まちがいさがしクイズ

北星学園大学の構内を紹介する2枚の写真を見比べて、右の写真の5個の間違いを探してください。Webやハガキで応募すると、抽選で10名様に北星学園大学オリジナルグッズが当たるチャンス！

【今号のまちがいさがしスポット】
北門・カバードウォーク

2015年にサイクリングロードからの入口となる「北門」が完成しました。キャンパス中心に向かう「カバードウォーク」は安全を考え、歩行者専用通路となっています。



★応募要項

下記応募フォームまたはハガキにて以下の内容をご記入の上、下記送付先までご応募ください。

- ① 問題の答え(まちがい5個) ② 郵便番号 ③ 住所 ④ 氏名
- ⑤ 電話番号 ⑥ HOKUSEI@COMのご意見・感想

送付先：〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

北星学園大学 HOKUSEI@COM「まちがいさがし」係

■ 応募締切日：2021年10月30日(土) 必着

■ 応募フォーム：https://www.hokusei.ac.jp/hokuseicom_quiz/



★正解発表

「HOKUSEI@COM」32号(2022年1月発行予定)に掲載いたします。

- ※ ご応募は1号につき、おひとり様1回までとさせていただきます。
- ※ 正解者の中から厳選なる抽選の上、当選者を決定いたします。当選の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
- ※ お送りいただいた情報は賞品の発送のみを目的に使用させていただきます。
- ※ ご住所・転居先の不明等で賞品をお届けすることができない場合は、当選を無効といたします。

前号の正解

